

デジタル副大臣 兼 内閣府副大臣
衆議院議員

大串まさき

<http://www.m-ogushi.com/> 国政報告

- ✔ 臨時国会が閉会
- ✔ 来年度予算・税制・防衛について
- ✔ 国政報告会を開催

ガブリック VOL. 33



大串まさき プロフィール

デジタル副大臣 兼 内閣府副大臣
元 経済産業大臣政務官

- ▶ 昭和41年生まれ。報徳学園高卒。東北大学大学院修了。博士（知識科学）。IHI、松下政経塾、大学准教授などを経て現職。現在4期目。
- ▶ 社会保障・教育・経済など多様な政策分野で活動中。
- ▶ 家族は妻と二人暮らし（猫一匹）。趣味は釣り・絵画・多肉植物。スポーツは高校まで剣道一筋。好きな食べ物は、カレー。座右の銘は「威ありて猛からず」。

お問い合わせ先

自民党への入党のご希望、国政報告会への参加希望など、お問い合わせは下記までお願い致します。

〒664 兵庫県伊丹市中央 1-2-6
-0851 グランドハイツコーワ 2-12
TEL:072-773-7601
FAX:072-773-7602

✉ info@m-ogushi.com



大串まさき 国政報告

自由民主党 兵庫県第六選挙区支部ニュースレター
ガブリック 第33号（令和4年12月25日号）

頒布責任者：浅井勝弘 伊丹市中央 1-2-6 グランドハイツコーワ 2-12
印刷者：株式会社プリントバック 京都府向日市森本町野田 3-1

討議資料

臨時国会が閉会

12月10日に秋の臨時国会が閉会しました。今国会はデジタル副大臣兼内閣府副大臣として臨んだ初めての国会でした。デジタル庁や消費者庁の担当副大臣としての仕事（公務）に加えて、国会対応などで奔走した69日間でした。

▶ 被害者救済法が成立

特に内閣府副大臣としては、旧統一教会問題に関連して相談体制を強化するなどの消費者契約法の改正や、不当な寄付・勧誘を防止する新法（いわゆる被害者救済法）を担当していました。さまざまなご意見がありましたが、憲法の財産権などの制約がある中で、現行の法体系の中でギリギリのところまでしっかり踏み込んだ法律としてまとめました。上手に運用することで、実効性を高めて参ります。

▶ 異例の法案審議プロセス

一般に閣法と呼ばれる内閣提出法案は、与党内の合意を得て閣議決定がなされます。その後、国会で与野党の審議を経て成立するのが一般的です。しかし今回の被害者救済法は、閣議決定の前に与野党で法案の修正協議がなされるなど、通常の立法過程とは大きく異なる法案審議プロセスでした。これは今国会中に、被害者救済の道筋をつけたいという点で、与野党が足並みをそろえていたからにはほかなりません。与党としても柔軟に対応して、結果的に短期間で成立させることができました。

▶ 補正予算で課題への対応

今国会では、第二次補正予算も成立しました。主にはウクライナ紛争に起因するエネルギー・食料品等の価格高騰対策、円安を生かしたインバウンドの推進など地域の稼ぐ力を回復・強化する施策などです。ウィズコロナの時代、感染症対策と並行して賃上げの促進や景気回復を後押ししていきます。また、これから議論される来年度の予算とあわせて、切れ目無く対策を講じていきます。



副大臣として答弁にあたりました



デジタル副大臣として多様な課題に対応



本会議場での質疑において大臣答弁のチェックは副大臣の仕事です

国会開会に関係なく年末にかけて自民党内の議論が白熱します。**予算編成大綱**と**税制改正大綱**のとりまとめには、多くの議員が参加し、これまで積み重ねてきた議論の成果をぶつけ合いながら合意点をつくってきました（残念ながら自民党のルールにより大臣や副大臣などの政務には発言権はありません）。もちろん財源の根拠のない無責任な政策はできませんので、税制の議論がセットになります。同時に膨大な予算や税制の議論の積み重ねが、自民党の政策力の源泉であるともいえます。

▶ 来年度予算と税制改正について

令和4年度は、コロナ後の景気回復が期待されていたにも関わらずウクライナ紛争に端を発するエネルギー価格の高騰などで世界的な景気減速となった一年でした。令和5年度も世界的な景気の後退が予測されています。物価高騰対策と成長戦略を両輪とする政策が必要になります。

成長戦略については、新しい挑戦を促すようなスタートアップ育成に向けた環境整備、**GX**や**DX**など環境問題やデジタル化の推進などに重点を置いています。ここに円安メリットを生かしつつ、経済安全保障や賃上げなどの課題解決を並行して進めていくことが重要になります。また、全世代型社会保障の構築や、新たに創設される**こども家庭庁**を通じて少子化対策やこども・子育て支援の拡充もおこないます。他に、教育や地方創生、農林水産物の輸出拡大、災害対策など全方位的に目配りをした予算編成となっています。

税制面でも、引き続き**成長と分配の好循環**の連鎖を生み出していく姿勢を強く打ち出しています。話題のNISAの拡充・恒久化は、家計の資産を貯蓄から投資へと積極的に振り向け、資産所得倍増につなげるためです。あわせて、スタートアップ・エコシステムを強化したり、企業に対して経営資源を活用した学校教育への積極的な関与を促したりすることも**人への投資**であり成長戦略のひとつです。一方で、より公平で中立的な税制の実現に向けて負担をお願いすること、人口減少・少子高齢化といった国内の構造変化への対応もおこないます。

▶ 安全保障のあり方と防衛財源

予算と税制に加えて、今年は防衛三文書と呼ばれる国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画がまとめられました。

国家安全保障戦略：国家安全保障に関する最上位の文書で戦略的指針を与える
国家防衛戦略：防衛の目標を設定して、達成のためのアプローチと手段を示す
防衛力整備計画：保有すべき防衛力の水準と、その達成の中長期的な整備計画

日本を取り巻く安全保障環境の変化に対応して防衛力を抜本的に強化します。5年間で43兆円、対GDP比2%など数字に注目が集まりましたが、**反撃能力の保有**などに向けての必要な装備品の調達だけでなく、隊員の処遇向上・生活環境整備も含めた対応が必要で、安定的な防衛財源の確保について引き続き議論して参ります。

地元（宝塚・伊丹・川西各市）で国政報告会を開催しました。国会やテレビなどで話題となっていた旧統一教会の問題についても、切り取られた情報ではなく、丁寧に何が問題かをお話しして、ご理解をいただけたと思います。また副大臣として、デジタル庁での仕事についてもお話ししましたが、馴染みのない言葉も多いので、今後も説明に工夫をしてみたいです。また、デジタル庁のWEBサイトでも、もう少し分かりやすい説明が必要であると感じており改善を指示しております。

お伝えしたかったことは、日本が遅れているデジタル社会の実現。スマートフォンで行政手続きが60秒で完結する社会を目指します。また、そのツールであるマイナンバーカードの安全性についても丁寧に説明しました。皆さまの不安を払拭できていればありがたいです。あわせて、今回成立した第二次補正予算についてもお話ししました。目下の国際情勢や、我が国が取り組むべき課題など、将来的な課題も含めてお話しをさせていただきました。ご参加くださった皆さま、ありがとうございました。

また、随時ミニ集會も開催しています。ご自宅や公民館の会議室など5人くらいでお話しする機会を大切にしています。「100人の集會だと『見てきた』になるが、5人の集會なら『会ってきた』になる」これは以前に故安倍元総理から教わったことです。皆さまと近い距離で、気兼ねなく率直に意見交換をおこないたいと考えていますので、お気軽にご用命下さい。時間の許す限り、こちらからお伺いして、その時々のお話しをさせていただきます。



国政報告会
分かりやすく伝えられるよう頑張ります



ご家庭でのミニ集會
親近感を持って頂ければ幸いです

編集後記

自民党内には優秀な後輩議員も増えており、徐々に若手とは呼ばれなくなりました。公務でも副大臣としての意見を求められることも多く、先輩議員から議員連盟の事務局などを引き継ぐことも増えてきました。会議に出て発言

していた立場から、中堅として提言の調整や段取りに気を遣う立場に変わりつつあります。いろんな壁にぶつかるたびに、先輩たちが重ねてきた苦勞を身にしみて感じています。気持ちを新たに、日々の経験を生かして皆さんのお役に立ちたいと思います。